

第9回 市長と話そう会（武雄焼振興会議）

日時 平成29年9月25日（月）19:00～20:30

場所 武雄市役所応接室

参加者 武雄焼振興会議8名



市民の皆さまと市長が直接語り合う『市長と話そう会』第9回目は、武雄焼振興会議の皆さんとの意見交換で、多数のご意見をいただきました。

内容を抜粋して掲載しています。

《掲載にあたり、一部個人のプライバシーに関する部分などについては省略しております。》

意見交換

（参加者）

教育委員会で古武雄再発見プロジェクトを平成28年度から開始されているが、毎年調査報告ができないか？

（市長）

古武雄再発見プロジェクトは、平成28年からの5カ年計画で、最終的には文化財の調査報告書としてまとめる。今後の整理、調査報告を活用していくためにも、ぜひ途中経過は報告したい。

（参加者）

大人数での体験を受け入れてくれる場所を整備してほしい。

（市長）

子ども図書館が10月1日にできて、そこを子どもたちが楽しく文化を学ぶことができる場所にしたい。子どもたちに体験などを通じて武雄の焼き物を知ってもらおう場としてふさわしいと思う。教育委員会と相談したい。

（参加者）

観光課と観光協会との協力はどのようなようであるか、それから武雄市として焼き物

業界に求めることがあるか？

(市長)

観光課と観光協会では、観光課の職員がそれぞれに席を置くことで連携している。

窯元に求めることは、いつも皆さまが外部へのPRや内部の子どもたちへの文化の伝承を行っている部分で、私たちがぜひ協力し、one of themとして参加をしたい。

(参加者)

今年で14回目の天草大陶磁器展は天草の行政と焼き物屋が行う大きなイベントで、まず焼き物屋主導で始めて、行政とも協力しPRや補助金でサポートしてもらって、拡大したものらしい。ゆくゆくはこのようなイベントを武雄でも行いたい。

(観光課)

昨年度から武雄市観光客誘客チャレンジ補助金というものを行なっている。観光客の誘客を視野にいったイベントや食、特産品、土産品などのブランド化事業を対象に上限が50万円で、2分の1の補助ができる。

(参加者)

武雄焼をいかに盛り上げて、PRしていくかという部分で、明治維新の150周年は武雄市の観光課としてどのような結び付けを行っていくか？

(市長)

今年度から鍋島茂昌展を図書館の企画展示室で行う。一番のメインイベントは来年の5月12日に秋田の竿灯祭りを呼び込むこと。150年を機にもう一度武雄と秋田のつながり、また武雄の誇りを呼び戻すため、秋田の竿灯祭りを行う。たくさんの方がくるので、焼き物も合わせて行うのはタイミングとしても良い。

私としては、秋田の酒を持ってきて、佐賀の酒と対決させる酔いどれ横丁を作りたい。見るだけでなく、食も楽しめる空間にしたい。酒器は武雄焼と良い組み合わせなので、武雄焼振興会議とぜひ一緒に取り組みたい。